



【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

※週間騰落率は過去5営業日の騰落率

	直近値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	15年末株価
NYダウ	15,973.84	313.66	2.00	-1.43	-8.33	17,425.03
NASDAQ	4,337.51	70.68	1.66	-0.59	-13.38	5,007.41
日経225	14,952.61	-760.78	-4.84	-12.28	-21.44	19,033.71
上海総合	2,763.49	-17.53	-0.63	0.95	-21.92	3,539.18
滬深300 (CSI300)	2,963.79	-20.97	-0.70	0.60	-20.56	3,731.01
ハンセン	18,319.58	-226.22	-1.22	-5.80	-16.40	21,914.40
H株	7,505.37	-152.55	-1.99	-6.87	-22.31	9,661.03

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は5.0%安と大幅続落、本土市場は1週間の休場

香港市場は旧正月の連休で週後半2日間の取引。ハンセン指数は2日間で5.0%安と大幅続落した。世界的な株安を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まり、旧暦の新年最初の取引日となる11日はハンセン指数が4%近く急落し、節目の19000ポイントを割り込んだ。翌12日も日経平均が3日続落するなどアジア株が総じて下落したことから、世界株安への警戒感が強まり続落。終値ベースで2012年6月5日以来約3年8カ月ぶりの安値を付けた。本土市場は旧正月の連休のため1週間休場だった。

今週の展望:香港市場は荒い値動きに、政策期待で週後半に戻りを試す展開も

香港市場は荒い値動きが想定される。前週末の欧米株高はプラス材料だが、旧正月の連休明けの本土市場の値動きや原油相場が不安材料。ただ、ハンセン指数のPBRはアジア金融危機以来となる1倍割れの水準まで下落しており、売られ過ぎ感を指摘する声も増えてきている。G20財務相・中央銀行総裁会議や中国の全国人民代表大会を前に金融市場の安定化や中国の政策期待が高まれば、週後半に戻りを試す展開になる可能性もありそうだ。本土市場も政策期待が高まれば底打ち反転の展開が見込まれる。

先週のハンセン騰落ランキング

▼値上がり	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 信和置業 (00083)	10.12	3.79
2 東亜銀行 (00023)	22.55	3.44
3 電能実業 (00006)	72.05	1.62
4 ワーフ (00004)	36.30	1.26
5 昆侖能源 (00135)	5.84	1.21
6 中国旺旺 (00151)	5.43	0.74
7 リー&ソング (00494)	4.62	0.65
8 ホンコン・チャイナガス (00003)	13.66	0.59
9 香港鉄道 (00066)	35.55	0.42
10 中電控股 (00002)	66.25	0.38

▼値下がり	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 レノバグループ (00992)	6.43	-12.64
2 HSBC (00005)	48.10	-11.17
3 恒安国際集団 (01044)	62.35	-10.67
4 中国平安保険 (02318)	30.60	-10.13
5 中国人寿保険 (02628)	16.32	-9.93
6 華潤電力控股 (00836)	11.72	-9.29
7 AIAグループ (01299)	37.25	-9.04
8 テンセント (00700)	133.30	-8.45
9 康師傅控股 (00322)	8.21	-7.86
10 サンズ・チャイナ (01928)	24.75	-7.48

▼今週の期待材料

- ◆旧正月の中国の小売売上高は前年同期比11.2%増と堅調、伸び率は前年の11.0%増を上回る
- ◆G20財務相・中央銀行総裁会議と全国人民代表大会の開幕近づく、金融市場の安定に向け期待高まる公算
- ◆旧正月期間中のオフショア人民元 (CNH) 相場が大幅に反発、資金流出懸念が後退へ

▼今週の懸念材料

- ◆18日に中国の物価統計発表、市場予想下回る弱い内容なら再び中国景気の先行き不安が高まる可能性も
- ◆原油相場の先行きに引き続き不透明感、協調減産期待が後退した場合には相場の波乱要因に
- ◆香港の中古住宅価格指標 CCL が過去4カ月で1割の下落、14年11月以来の水準に

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 保利置業 (00119) : 1月の不動産成約額は42%増と好調、成約面積は2%増加
- ☆ テンセント (00700) : 「微信」を通じたお年玉サービス、利用件数が前年の約10倍に
- ☆ 華能新能源 (00958) : 1月の発電量は41%増と好調、風力発電は42%増加
- ☆ 中国民生銀行 (01988) : 華富国際 (00952) の株式取得計画、当局が計画を承認
- ◇ HSBC (00005) : 本社移転問題、引き続きロンドンに本社を置くことを決定
- ◇ 中国児童護理 (01259) : 事業多角化に向けオンライン旅行サービス会社の買収を発表
- ★ 中航国際控股 (00161) : ポルトガルの仲裁裁判所がドイツ子会社に賠償命令
- ★ 合景泰富地産 (01813) : 19日に15年本決算を発表、市場予想は11%減益
- ★ サンズ・チャイナ (01928) : 19日に15年本決算を発表、市場予想は42%の大幅減益
- ★ MGMチャイナ (02282) : 18日に15年本決算を発表、市場予想は45%の大幅減益

▼今週の主なイベント

- 2月15日(月) 【米国】プレジデントデーで休場
- 2月17日(水) 【米国】FOMC議事要旨公表
- 2月18日(木) 【中国】CPI, PPI(1月)

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。